

県立入間わかさ高等特別支援学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	対象学年 : 職業学科全学年 人 数 : 170人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (トップアスリートによる講演・体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・生涯を通じたスポーツへの参画の拡大 ・障害者スポーツを含むスポーツに対する関心の向上 ・東京大会への関わり方を見つける
5 取組内容	(1)開催日・場所 平成30年12月19日(水) 本校体育館、グラウンド (2)講師 リオオリンピック 陸上競技三段跳 日本代表 長谷川 大悟 氏 WBCムエタイライト級 インターナショナル王者 宮越 慶二郎 氏 (3)内容 ・質問に対しての対談形式で行った。 ・わかりやすい内容を中心にスポーツの魅力について講演をして頂いた。 ・体験は陸上競技とキックボクシングの中から選択して行った。  トップアスリートによる講演・体験会 12月19日 場所: 埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校(体育館) 時間: 2～4 校時 (9:55～12:45)  

6 主な成果	・オリンピック・パラリンピックについて知ることで、大会の知識や興味が深まった。 ・トップアスリートへ多くの質問が出るなどアスリートや競技への興味・関心を持つことができた。 ・実際に競技を体験することでスポーツの楽しさやコツを掴むことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・アスリート講演会においては、入場時に映像等を使って視覚的な支援を行った。 ・講演については事前に集めた質問の中から話をして頂いた。
8主な課題等	・今回お願いした講師は、本校職員の知人であったため、無理な条件で依頼することができた。来年度以降、どのように講師を探すかが課題と考える。
9来年度以降 の実施予定	・様々なスポーツに触れる機会を作り、生涯スポーツへと繋げていく。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方を深めていく。